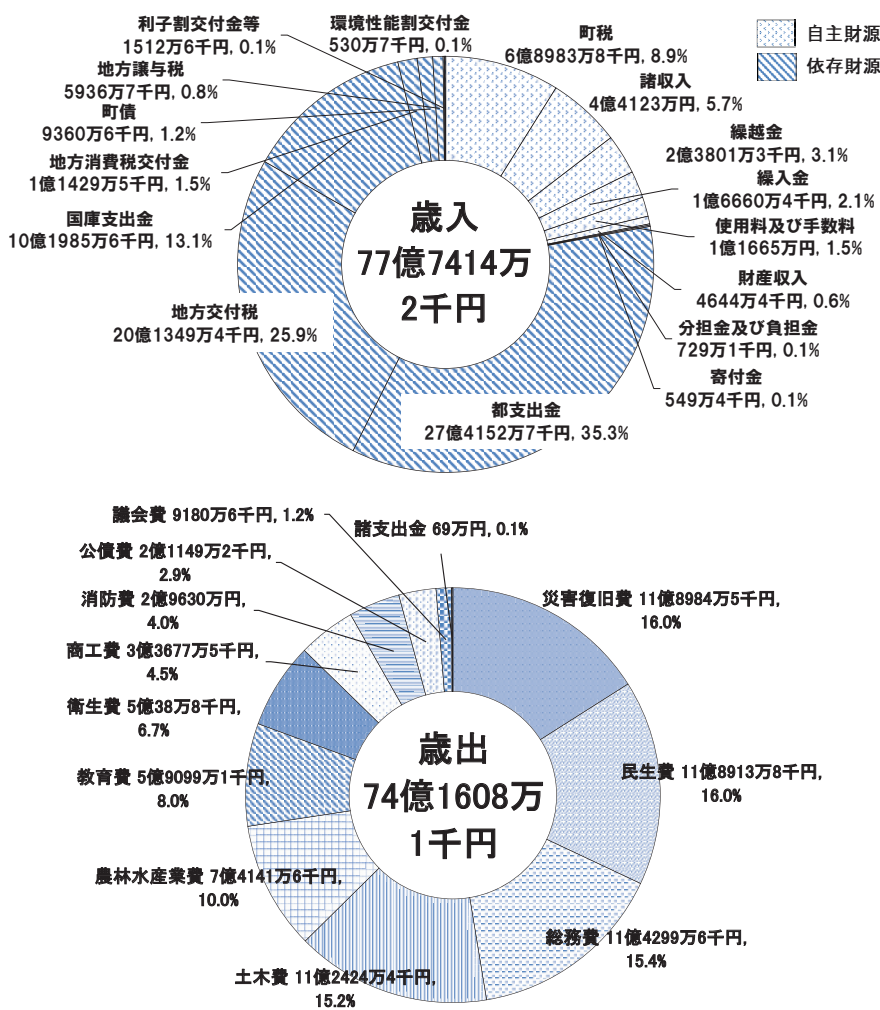


令和2年度決算が認定されました

令和2年度決算が町議会9月定例会で認定されましたので、主な内容をお知らせします。

【一般会計】 令和2年度の一般会計決算額は、歳入が77億7414万2千円、歳出が74億1608万1千円で、収支差引額は3億5806万1千円、翌年度繰越財源1億1370万6千円を除いた実質収支額は2億4435万5千円となりました。令和2年度は、令和元年台風第19号災害復旧や新型コロナウイルス感染症対策により多額の災害復旧費が掛かったため、前年度に比べて、歳入額は6.4%の増、歳出額は5.0%の増となりました。

【令和2年度一般会計決算額および構成比】



【歳入】 新型コロナウイルス感染症対策への交付金により国庫支出金が大きく増となり、依存財源合計は61億円、歳入全体の77%に達しました。対して、自主財源で最も大きい町税は、前年度から1.3%の減となりました。例年、町の歳入に占める自主財源の割合は、全国の同規模町村と比べても非常に低い値となっています。

【歳出】 災害復旧費として、特別定額給付金や地域応援券事業など7億7千万円の新型コロナウイルス感染症対策費および山葵田や林道などの令和元年台風第19号災害復旧に4億2千万円を支出したことにより、前年度から3億5千万円の増、合計で74億円を超え、過去最大だった前年度を上回る規模の歳出となりました。

【町税収入の推移】

